

どうして  
がんになると  
痩せるの?

がんで痩せる理由は大きく分けると2つ。1つは咽頭、食道、胃、大腸といった食べ物の通り道にがんができる、食事が摂りづらくなったり、消化・吸収がうまくできない場合。もう1つは、がん細胞は際限ない分裂・増殖のためにたくさん栄養を必要とするため、身体中から栄養を横取りして、栄養失調状態を引き起こしてしまう場合です。これを癌性悪液質といって、食事を摂っても栄養が行き渡らずにどんどん痩せてしまう、がん特有の症状に陥ります。

## [バランスが崩れてしまった細胞分裂]



### 結論 1

がん細胞は外からやって来るのではなく、自分自身の細胞から生まれるもの。正常な細胞であれば、必要な分だけ細胞分裂し、役割を持つ細胞へと変化していくところ、がん細胞は勝手に増殖を続け(無限増殖)、隣り合って組織を侵し(湿潤)、身体中の組織に広がっていく(転移)。



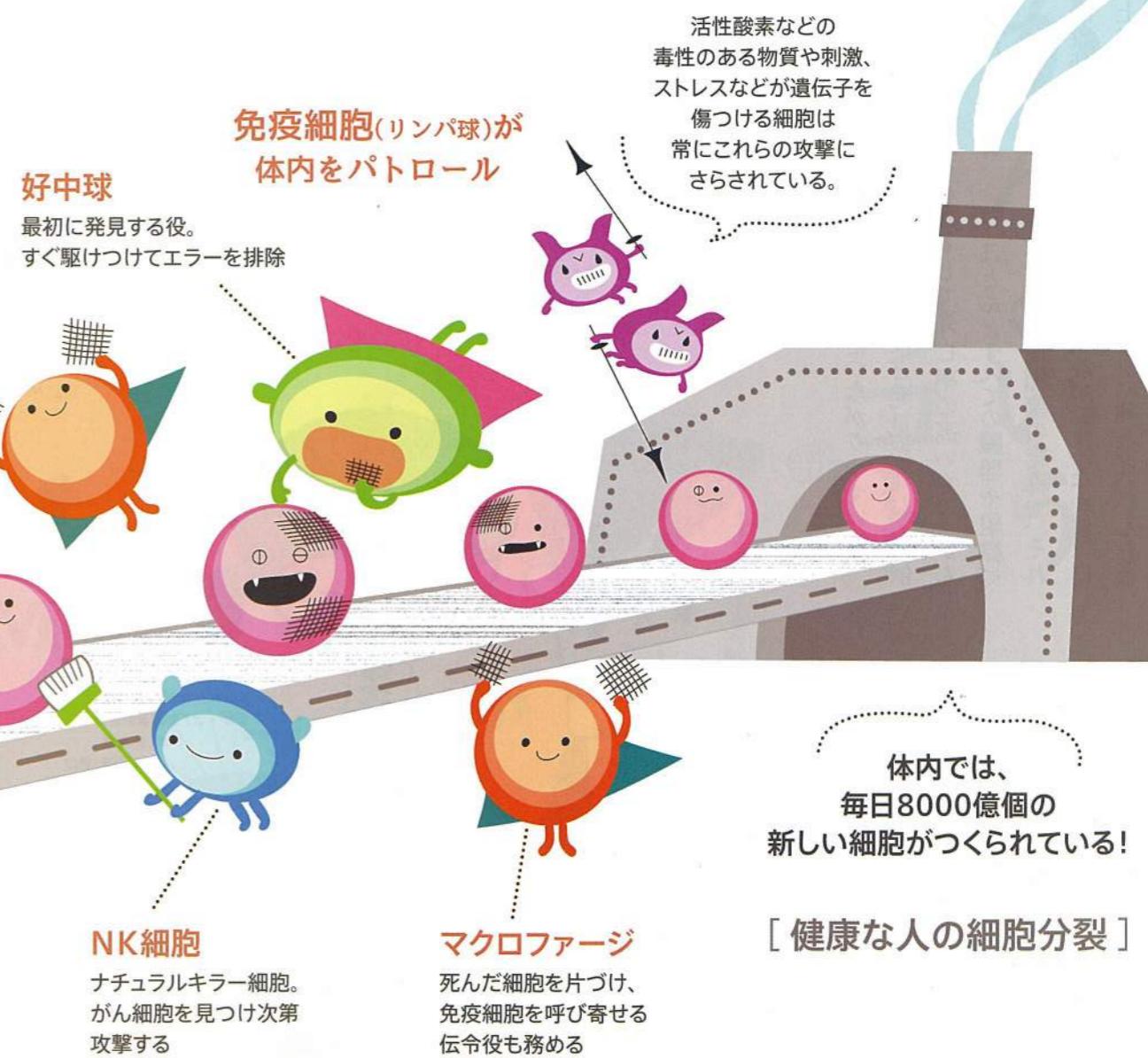
通常の細胞分裂にはきちんとルールと設計図があり、皮膚、粘膜、神経など、決まった形や機能を持つ細胞が生き残り、手が付けられない暴走が始まってしまうのです。

### 悪性腫瘍と良性腫瘍

常な状態を保っています。ところが、免疫力が落ちていると、多重にはたらく防御をかいくぐってがん化した細胞が生き残り、手が付けられない暴走が始まってしまうのです。

誰の身体でも、毎日3000~5000個のがん細胞がつくられている!?

# がん細胞ができるしくみ



### [健康人の細胞分裂]

### がんは細胞分裂のエラー

わたしたちの身体は、約60兆個もの細胞が集まって形づくりられています。その数はほぼ一定に保たれていますが、役目を終えた細胞は死滅し、代わりに細胞分裂によって新しい細胞がつくれ、定期的に入れ替わっています。日焼けした皮膚がボロボロ剥がれたり、頭からフケが落ちたりするのは、皮膚が新陳代謝している証拠です。そうやって、それぞれの細胞に入れ替わる周期は90~120日といわれ、全身でいえば毎日8000億個の新しい細胞が生まれています。その膨大な作業のうち、まれにエラーを起こしたもののが、がん細胞です。誰の身体でも、毎日300万万分の1以下の確率で生まれたミスも、傷ついた细胞です。誰の身体でも、毎日300万万分の1以下の確率で生まれたミスも、傷ついた遺伝子を修復する酵素のはたらきや、免疫細胞の防衛システムによって、ほとんどはすぐさま取り除かれ、正常な状態を保っています。ところが、免疫力が落ちていると、多重にはたらく防御をかいくぐってがん化した細胞が生き残り、手が付けられない暴走が始まってしまうのです。